

本日はGMOペパボ株式会社と大日本印刷株式会社、株式会社日比谷花壇の共同プレスリリースです。
各社より重複して配信される場合がございますが、あらかじめご了承ください。

2023年12月5日

報道関係各位

GMOペパボ株式会社
大日本印刷株式会社
株式会社日比谷花壇

大日本印刷とGMOペパボ・日比谷花壇等が連携し、 アート作品の二次創作を促進する、画像ライセンス提供サービスを開始

GMOインターネットグループのGMOペパボ株式会社（代表取締役社長：佐藤 健太郎 以下、GMOペパボ）は、大日本印刷株式会社（代表取締役社長：北島 義斉 以下、DNP）のグループ会社、株式会社DNPアートコミュニケーションズの画像ライセンス（利用許諾）提供サービス「イメージアーカイブ・ラボ」（URL：<https://imagingmall.com/imagearchiveslab>）との連携を2023年12月5日（火）より開始いたしました。「イメージアーカイブ・ラボ」は、2022年5月より実証実験^(※1)を進めていたもので、有償の画像ライセンス+証明書販売の需要が確認できたため、正式なサービス（URL：<https://imagingmall.com/imagearchiveslab/About/5786988979476978/serv/index.html>）としての提供を開始しました。

なお、「イメージアーカイブ・ラボ」での提供画像は、これまでフランス国立美術館連合（RMN -Grand Palais）に所属する美術館所蔵品・名画が対象でしたが、このたびの正式リリースに伴い、株式会社日比谷花壇（代表取締役社長：宮島 浩彰 以下、日比谷花壇）のフラワーグラフィックと林原美術館（代表理事：長瀬 玲二）の所蔵する東洋古美術品が加わりました。画像ライセンスを購入したクリエイターは、さらに多彩な作品を素材とした創作活動が可能となります。

(※1) 【プレスリリース】大日本印刷 エイベックス・テクノロジーズ GMOペパボ アート画像を素材にした“二次創作”を促進する実証実験を開始（2022年5月26日）URL：<https://pepabo.com/news/press/202205261100/>



アート画像を素材にした
“二次創作”を促進する
画像ライセンス
提供サービス
を開始

狩野養信《源氏物語因屏風(左隻)》(部分)
林原美術館 画像提供：林原美術館/
DNPartcom

フィンセント・ウィレム・ファン・ゴッホ
《自画像(部分)》オルセー美術館
Photo © RMN - Grand Palais
(musée d'Orsay) / Gérard Blot /
distributed by AMF - DNPartcom

© HIBIYA-KADAN

【「イメージアーカイブ・ラボ」とは】

(URL : <https://imagingmall.com/imagearchiveslab>)

「イメージアーカイブ・ラボ」は、DNPとDNPアートコミュニケーションズ提供する、多様なアート画像の提供を通じてクリエイターの創作活動を支援するアート画像ライセンス提供サービスです。画像ライセンスを購入したクリエイターにはブロックチェーン技術を活用し証明書を発行するため、画像データを素材とした新しい作品を安心して創作・販売することが可能です。

【アート画像ライセンス提供サービス開始の背景】

クリエイターを中心とした経済圏（クリエイターエコノミー）の2022年の国内市場規模は約1兆6,552億円と推計され、2021年の1兆3,574億円に対して21.9%増加^(※2)しており、今後も成長が見込まれています。中でも、個人クリエイターが第三者の著作物を素材として新しいコンテンツを創作（「二次創作」）し、さらに別の個人クリエイターが二次創作物を素材に別のコンテンツを創作（「n次創作」）する循環の実現は、コンテンツ市場の拡大に大きく寄与すると考えられています。

一方で、著作物等の権利許諾を得るためには煩雑な手続きが必要で取引コストも大きく、個人クリエイターが「n次創作」を公開・販売する際の障害となっており、これによる機会損失は、潜在市場で1兆4千億円^(※3)と推定されています。

この課題に対応するため、DNPグループでは、主に法人向けに実施してきたアート画像の利用許諾サービス^(※4)の対象を個人クリエイターに拡大し、安心して「二次創作」を行う環境を整備する実証実験を行ってきました。この結果、有償での画像ライセンス+証明書販売の需要が確認できたため、正式なサービスとして提供を開始することにいたしました。

(※2) 出典：三菱UFJリサーチ&コンサルティング 2023年10月「国内クリエイターエコノミーに関する調査結果」

(※3) 出典：令和元年度 知的財産権ワーキング・グループ等侵害対策強化事業n次創作活動に関する調査（経済産業省）

(※4) イメージアーカイブ URL : <https://images.dnp.com.jp/>

【アート画像ライセンス提供サービスの特長】

■ 個人クリエイターを中心とした画像ライセンスの提供

GMOペパボが運営する国内最大^(※5)のハンドメイドマーケット「^{ミンネ}minne byGMOペパボ」（URL : <https://minne.com/>）と連携し、minne作家・ブランドを対象に、「イメージアーカイブ・ラボ」を通じて、創作のためのアート画像の提供を行います。minne作家・ブランドは、購入した画像ライセンスを活用して作品を創作し「minne byGMOペパボ」で販売することができます。minne作家・ブランドに対する利用許諾費用は、ハンドメイド作品の販売価格に応じて設定されます。現時点での「イメージアーカイブ・ラボ」が提供するアート画像を使用した作品販売は「minne byGMOペパボ」のみで可能となります。

(※5) ハンドメイド作品の販売を主軸とするハンドメイドマーケット運営会社2社の作家・ブランド数と作品数に関するIR資料公表数値及びサイト公表数値を比較。2023年10月12日時点、GMOペパボ調べ。

<作品例>



左：ルノワールの「桃」をもとに Asahi art style さんが制作した作品

中：「竹図屏風（右隻）」をもとに ami さんが制作した作品

右：「Spring Blossom Delight-tulip 03」をもとに Shizuku さんが制作した作品

■ブロックチェーン技術で安心してアート画像が使える

minne作家・ブランドが創作した作品を「minne byGMOペパボ」に出品する際に、ブロックチェーン技術を活用したデジタル証明書サービス「A trust（エートラスト）」^(※6)を利用して証明書にリンクすることで、正規に画像の利用許諾を受けていることを証明できます。

(※6) A trust（エートラスト）：ブロックチェーン技術を活用したデジタル証明書を提供するエイベックス・エンタテインメント株式会社のサービス

■画像ライセンス提供プラットフォームにDNPの「Imaging Mall®（イメージングモール）」を採用

今回、株式会社DNPフォトイメージングジャパンが提供する法人向けクラウド型画像販売ソリューション「Imaging Mall®」（URL：https://www.dnp.co.jp/biz/solution/products/detail/10161941_1567.html）を活用し、「イメージアーカイブ・ラボ」の画像ダウンロードと同時にブロックチェーン証明書を発行する仕組みを新たに開発することで、画像の貸出サービスを行います。

■日比谷花壇 フラワーグラフィックサービス「花屋さんのお花柄」との連携 (URL：<https://www.hk-business.biz/flowerpattern/>)

日比谷花壇の長年のノウハウをもとに、企画やコンセプトメイキング、販売等の総合的なプロデュースを手掛けるフラワーグラフィックサービス「花屋さんのお花柄」が、今回の正式サービスリリースに伴い提供画像に追加となりました。「花屋さんのお花柄」は、多くの企業向けにオリジナルのフラワーデザインをゼロから制作し、広告やパッケージ、商品に採用され、これまで多数のアパレル商品や雑貨が誕生しています。また、シーズンごとに新作発表も行っており、人々の生活に彩りを提案しています。数多くの高品質のフラワーフォトストックからお選びいただける画像はもとより、企業や商品のイメージに叶う、オリジナルフラワーデザインの監修、商品化まで、それぞれのニーズに応じたサービスを展開しています。

■「minne byGMOペパボ」での作品販売をクリエイターから募集する企画の実施

初回企画名：minne ART MUSEUM — 歴史的名作とハンドメイド

募集期間：2023年12月5日（火）～2024年1月22日（月）

その他、随時企画を実施予定です。

詳細は「minne byGMOペパボ」のnote（URL：<https://note.minne.com/n/na75141599bfb>）をご確認ください。

【権利許諾するアート画像】

所蔵元	作品
フランス国立美術館連合 (RMN -Grand Palais)	フィンセント・ウィレム・ファン・ゴッホ《自画像》 ピエール=オーギュスト・ルノワール《桃》 …ほか計 12 点
一般財団法人林原美術館	狩野養信《源氏物語図屏風》、菱川師宣《立美人図》 …ほか計 10 点
株式会社日比谷花壇	日比谷花壇フラワーグラフィックシリーズ「花屋さんのお花柄」 「Spring Blossom Delight」 計 10 点

【今後の展開】

今後も本取り組みに賛同する企業や団体と連携し、多くの個人クリエイターがアートをより身近に感じるとともに、安心して「n次創作」を行える環境を提供できるよう、クリエイターのニーズも踏まえた取り扱いジャンル・コンテンツの拡大や、「minne byGMOペパボ」を利用する作家・ブランドの作品募集企画の実施などを通じ、“ホワイトマーケット”の醸成に貢献して行きます。

【報道関係お問い合わせ先】

●GMOペパボ株式会社 社長室 広報 伊早坂
TEL : 03-5456-2622
E-mail : pr@pepabo.com

●株式会社日比谷花壇 広報室 青木・中村
TEL : 03-5444-8715
E-mail : hibiyakadan-pr@hibiya.co.jp

●大日本印刷株式会社 IR・広報本部 野田
TEL : 080-2242-9220
E-mail : Noda-M4@mail.dnp.co.jp

●GMO インターネットグループ株式会社
グループコミュニケーション部 広報担当 山崎
TEL : 03-5456-2695 E-mail : pr@gmo.jp

【GMOペパボ株式会社】 (URL : <https://pepabo.com/>)

会社名	GMOペパボ株式会社 (東証スタンダード 証券コード : 3633)
所在地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代表者	代表取締役社長 佐藤 健太郎
事業内容	■ホスティング事業 ■EC支援事業 ■ハンドメイド事業 ■金融支援事業
資本金	2 億 6,222 万円

【大日本印刷株式会社】 (URL : <https://www.dnp.co.jp/>)

会社名	大日本印刷株式会社 (東証プライム 証券コード : 7912)
所在地	東京都新宿区市谷加賀町 1 丁目 1 番 1 号
代表者	代表取締役社長 北島 義斉
事業内容	■出版イノベーション事業 ■情報イノベーション事業 ■イメージングコミュニケーション事業 ■Lifeデザイン事業 ■生活空間事業 ■モビリティ事業 ■高機能マテリアル事業 等
資本金	1,144 億円

【株式会社日比谷花壇】 (URL : <https://www.hibiya.co.jp/>)

会社名	株式会社日比谷花壇
所在地	東京都港区南麻布 1 丁目 6 番 30 号
代表者	代表取締役社長 宮島 浩彰
事業内容	■リテール事業 ■法人事業 ■バンケット事業 ■ライフサポート事業 ■地域創生事業
資本金	1 億円

【GMOインターネットグループ株式会社】 (URL : <https://www.gmo.jp/>)

会社名	GMOインターネットグループ株式会社 (東証プライム 証券コード : 9449)
所在地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代表者	代表取締役グループ代表 熊谷 正寿
事業内容	■インターネットインフラ事業 ■インターネット広告・メディア事業 ■インターネット金融事業 ■暗号資産事業
資本金	50 億円

Copyright (C) 2023 GMO Pepabo, Inc. All Rights Reserved.

Copyright (C) 2023 Dai Nippon Printing Co., Ltd. All Rights Reserved.

Copyright (C) 2023 HIBIYA-KADAN FLORAL CO., LTD. All Rights Reserved.